

2008年の夏休み

8月1日(金) 2日(土) 8日(金) 9日(土)

午後1時30分スタート!(午後1時開場)

東京国立近代美術館フィルムセンター
小ホール(地下1階)

協力: IMAGICA

探検しよう!

映画の世界を

映画があつたんだ!

いろいろな

こんなに

参加は申込制です

応募方法: Eメールまたは往復葉書にて「フィルムセンター
こども映画館係」までお申し込みください。受付票を返
信いたします。しめきりは実施日の1週間前(必着)です。
各回、定員(150名)に達し次第しめきります。

記入事項: ① 希望日 ② 参加者全員の名前(おとなもこ
どもも) ③ 学年(こどものみ) ④ 住所・電話番号・E-
mailアドレス ⑤ 展示室見学の希望の有無 ⑥ 映写室訪
問の希望の有無(映写室は抽選の当選者のみ参加可)

Eメール kids-cinema2008@momat.go.jp
※受付票を添付して返信するため、パソコンから
ご送信ください。

往復はがき 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
フィルムセンターこども映画館係

◆内容に関するお問い合わせ 電話03-3561-0823

- ★「こども映画館」はこどもたちのためのイベントです。こどもたちの引率や付き添いではない成人の方々の単独でのお申し込みはご遠慮願います。
- ★各プログラムは原則として中学生までを対象としています。高校生もお申し込みいただけますが、全体の申し込み数が定員を超えた時は、やむなくご参加をお断りする場合がございます。
- ★当日の会場への入場は先着順です。発券・開場は開映の30分前から行います。受付票をご提示の上、観覧券をお求めください。観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ★シニア(65歳以上)の方は、当日必ず年齢を証明できるものをご提示ください。
- ★お申し込みの際にいただきます個人情報は、今後の「こども映画館」に関するご案内の目的のみに利用することとし、第三者への提供は行いません。

料金[当日お支払い]

●小ホール(地下1階)

小・中学生	100円
幼児(未就学児童)	無料
一般	500円
高校・大学生・シニア	300円

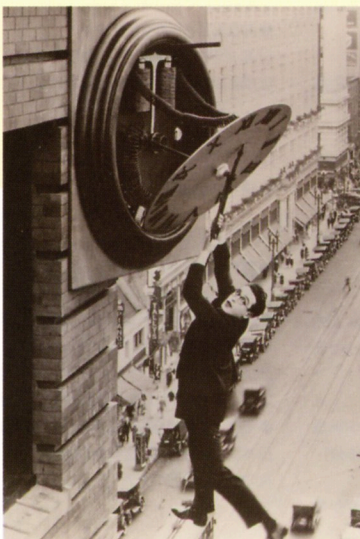


写真: モダン怪談100,000,000円(上)
パテ魔法映画集(中)
ロイドの要心無用(左下)、おこんじょうり

8月1日(金) 午後1時30分スタート!

活井と音楽の世界 むかしの映画を見てみよう!

映画の上映とお話

発明された頃の映画や昔のトリック映画、とても楽しい喜劇映画まで。活井や音楽といっしょに無声映画の世界をのぞいてみよう!

映写室・展示室訪問(希望者のみ)

*映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみ参加可能です。

終了予定 午後3時30分

8月2日(土) 午後1時30分スタート!

いろいろな アニメーション!

映画の上映とお話

90年前の日本人がつくったアニメーションから、音楽にあわせて形がおどる不思議な映画まで。見てみよう、いろいろなアニメーション。

映写室・展示室訪問(希望者のみ)

*映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみ参加可能です。

終了予定 午後3時30分

8月8日(金) 午後1時30分スタート!

映画の魔法に 触れてみよう!

映画の上映とお話

100年前の魔法映画から一風変わったアニメーション映画まで。昔も今も映画の機械の特徴をいかした、すてきな映画がたくさんつくられてきたよ。

映写室・展示室訪問(希望者のみ)

*映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみ参加可能です。

終了予定 午後3時30分

8月9日(土) 午後1時30分スタート!

活井と音楽の世界 ふしぎな話、ふしぎな動き

映画の上映とお話

ようせい、さいみん術師、そしてゆうれいが出てくるよ。活井や音楽といっしょにふしぎな無声映画を楽しもう。

映写室・展示室訪問(希望者のみ)

*映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみ参加可能です。

終了予定 午後3時30分

●上映作品解説●

8月1日(金) 活井と音楽の世界—むかしの映画を見てみよう!

- ◆エジソンの初期短篇集(1893—97年)
アメリカ▶1896年の『アーウィンとライスの接吻』など、映画発明期に製作されたエジソン社の作品4本を上映。(計2分)
- ◆極地征服(1912年)
フランス/ジョルジュ・メリエス監督▶トリック映画の祖、メリエスが描く不思議な北極探検の旅。(8分)
- ◆ロイドの要心無用(1923年)
アメリカ/フレッド・ニューメイヤー、サム・テイラー監督▶ハリウッド・ロイド主演の無声喜劇映画の代表作。高層ビルをよじ登るアクロバット・シーンは圧巻。(67分)

8月2日(土) いろいろなアニメーション!

- ◆なまくら刀(1917年)
日本/幸内純一監督▶日本製アニメーションのパイオニア・幸内純一による、現存最古のコマ撮りアニメーション作品。(2分)
- ◆黒ニヤコ(1929年)
日本/大藤信郎監督▶大藤信郎の千代紙映画。SPLコードを同調させた「レコードキー」から音声版のフィルムを復元。(3分)
- ◆ルビンシュタインの光の踊り(1932年)
ドイツ/オスカー・フィッシング監督▶図形の動きを音楽に乗せた、ドイツの映画作家フィッシングの抽象映画。(5分)
- ◆表現(1935年)
日本/荻野茂二監督▶小型映画運動の先駆者・荻野茂二が色彩技術の実験を行った日本製の抽象映画。(3分)
- ◆隣人(1952年)
カナダ/ノーマン・マクラレン監督▶1本の花をめぐる争う隣人たちの姿を、動画作家マクラレンが人間や物を使ったアニメーションを交えて描く。(8分)
- ◆くじら(1952年)
日本/大藤信郎監督▶影絵映画に色セロファンを採用し、カンヌ映画祭ではピカソの賞賛を受けたという、大藤信郎戦後の代表作。(8分)
- ◆幽霊船(1956年)
日本/大藤信郎監督▶『くじら』と同様、海を主題にした色鮮やかな影絵映画。ヴェネチア国際映画祭で特別賞を受賞。(11分)

8月8日(金) 映画の魔法に触れてみよう!

- ◆パテ魔法映画集(1908—09年)
フランス▶トリックいっぱいのパテ製魔法映画のうち4本が、それぞれ断片的に収録されたもの。(12分)
- ◆茶目子の一日(1931年)
日本/西倉喜代治監督▶茶目子の一日が軽快な歌に合わせてコミカルに描かれたアニメーション映画。(7分)
- ◆村祭(1930年)
日本/大藤信郎監督▶村祭の歌に合わせて、祭の楽しげな雰囲気伝える大藤信郎の千代紙映画。(3分)
- ◆おもちゃの汽車(1931年)
日本/西倉喜代治監督▶動物と機関車の旅を楽しく描いたアニメーション映画。(2分)
- ◆ホーム・マイホーム(1970年)
日本/岡本忠成監督▶かわいいキツネとモグラが新聞や画用紙を素材にして描かれている。(3分)
- ◆おこんじゅうり(1982年)
日本/岡本忠成監督▶張り子や泥人形の質感を生かした、岡本忠成による個性豊かな人形アニメーション映画。(26分)

8月9日(土) 活井と音楽の世界—ふしぎな話、ふしぎな動き

- ◆塔(1928年)
フランス/ルネ・クレール監督▶パリのエッフェル塔を斬新なカメラワークで捉えたフランスの巨匠クレールの作品。(11分)
- ◆雪の騎士(1912年)
フランス/ジョルジュ・メリエス監督▶黒騎士にさらわれた婚約者を取り戻しに旅立つ雪の騎士の物語。(19分)
- ◆ズゴ 催眠鬼X(1914年)
デンマーク/カン・ヴァン・デア・オー・クーレ監督▶催眠術を操るジプシーをテーマにした、無声映画黄金期のデンマーク映画。(13分)
- ◆モダン怪談100,000,000円(1929年)
日本/斎藤寅二郎監督▶駆け落ちした若い男女が赤城山で国定忠次の幽霊と出逢うタバコ・コメディ。(16分)

●8月1日、9日



○弁士:佐々木亜希子
活動写真(映画)の弁士。NHK山形放送局にてニュース番組のアシスタント・キャスターを務めた後、関東でテレビやラジオのアナウンス、リポートに携わる。1999年、活井に出会い傾倒、2001年より弁士として各地で公演を行っている。

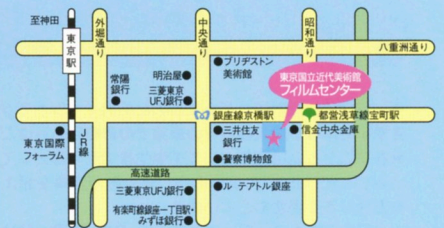
○演奏:FEBO

2003年に結成。ギターの小沢あき、ピアノの永田雅代による即興中心のアンサンブル。

東京国立近代美術館 フィルムセンター

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通: 東京メトロ銀座線京橋下車、
出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、
出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、
出口7より徒歩5分
JR京橋駅下車、八重洲南口より徒歩10分



お問い合わせ

ハローダイヤル
03-5777-8600

東京国立近代美術館ホームページ

<http://www.momat.go.jp/>

保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「こども映画館」は、小・中学生を対象としたフィルムセンターの映画イベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

- こどもたちに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらおう。
 - こどもたちに、テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画を楽しむ機会を提供する。
 - 優れた映画作品の鑑賞を通して、こどもたちの豊かな情操と高い映像理解能力を育む。
- こどもたちが映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する—かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日のこどもたちにも味わってほしいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。

活井とは?

無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人氣が左右されるほど大切な役割を担っていました。